

【戦うオヤジの応援団 2012 年度活動計画と予算計画】

■活動計画

- ・ 昨年の大震災以降、国内政治は混沌とした状況が続き、世界的な経済状況も好転の兆しが見えない状況にある中、私たちが暮らす社会の不安とストレスは増すばかりです。しかし、政治や経済の状況がどのようになろうとも、この先、私たちが地域に暮らす高齢者という立場で生きていかなければならない時代が確実に近づいてきています。
- ・ 税収の増加が見込めず、これまでのような社会保障のレベルが期待できない社会で高齢者としての生活を送ることを考えた時、個人の健康維持と地域の連帯感の増進を大きなテーマとしながら、高齢者が地域に役立つ存在であることが求められると思われれます。そんな中、我々が目指している、地域の自治体やNPOと連携をすることによって音楽を通じて地域のコミュニケーションを活性化させるという活動の重要性は、これまで以上に高まるものと考えます。
- ・ そのような、地域における活動の主体は全国のSPであり、応援団を構成する全国の個人メンバーとなりますが、事務局としては、そんなSPと個人の皆さんのネットワークを維持強化すると共に、必要に応じて、自治体やNPOとの連携の窓口としての役割を強化していくことが課題だと考えています。
- ・ しかし、現在のように事務局運営を一人のスタッフが仕事を行いながらボランティアで実施する体制では、これまで以上の作業を行うことは時間的にも労力的にも困難な状況にあるため、数年以内に、複数のスタッフで事務局を運営できるだけの安定的な収入確保の可能性を検討すると共に、事務局の存在を根本から見直していきたいと思っています。
- ・ そのためにも、再来年には年会費収入で事務所の家賃と光熱費（年間約 120 万円）を賄える状況を作るために、正会員 400 名の確保を目指し、まずは 2012 年度には 350 名の正会員確保を目指した努力を行ってまいります。
- ・ また、今後SPが地域における戦うオヤジの応援団活動の中核となっていくことを前提とするとき、これまで以上にSPの独立性を高め、SP独自で地域のイベントが実施できるような運営基盤を整備することが望まれます。そのためにも、練習会や交流会の実施の際には、実際の必要経費以外にSPの運営費や寄付として数百円程度をプラスした料金で実施する方法や、SP運営に必要な体制作りなどについても、各SPと共に検討・提案していきたいと思えます。

■予算計画（別紙報告書の解説）

- ・ 2012 年度の大きな支出としては、正会員用の楽譜ホルダー400冊の製作費 25 万 7 千円（封筒印刷と名刺入れを含む）と送料 5 万 6 千円（160 円×350 冊として宅急便予算に加算）があります。なお、今回の正会員への楽譜ホルダー配布は 2012 年度限定ですので、ホルダーが余った場合は、2013 年度に正会員の希望者向けに販売して会の収入とする予定です。
- ・ 2012 年度は事務所の 2 年ごとの契約更新となるため、更新料として 1 カ月分の家賃（8 万 7885 円）を計上しています。
- ・ SPへの事務経費補助については、昨年度の報告にも記載しているように、今後の事務局の充実に必要となる予算確保のために、計上しておりません。
- ・ 昨年は予算に入れていなかった予備費として、今年は 5 万円を計上しています。
- ・ その他事業収入としては、携帯用ギタースタンドを年度内に 200 個程度販売して 6 万円程度の利益を確保しつつ、従来のギターケース販売手数料などを合わせて 10 万円の収入を目指しています。